

齲蝕になりやすい理由を理解して  
「なりやすい人」を「なりにくい人」に!



### カリエスブック

5ステップで結果が出るう蝕と酸蝕を予防するカリ  
オロジーに基づいた患者教育

伊藤直人 著

A5判/120頁 定価4,000円+税  
医歯薬出版(2020年6月)

杉山歯科医院(千葉県八千代市)  
評・杉山精一(歯科医師)

著者の伊藤直人先生と出会いは、2018年コペンハーゲン大学。齲蝕の診断システムとして世界的に使われるICDAS(国際的齲蝕探知評価システム)について、実際の歯を使ってキャリブレーションを行うトレーニングセミナーの教室でした。参加者は約50人、日本からの参加は私だけだろうと思っていたら“I'm from Japan”と自己紹介をした先生がいることに驚き、コーヒースタンプで声をかけさせていただきました。セミナーの期間中、いろいろとお話しさせていただきましたが、そのなかで「齲蝕治療には知識の整理が大事ですよ」と言われていたのをよく憶えています。

歯科治療は「技術が大事」といわれることが多いです。齲蝕治療を切削修復治療と考えてい

た時代は、治療技術が結果を左右することも多かったですが、現代の齲蝕治療は、非切削治療が主流です。的確な診査・診断に基づいて、非切削齲蝕治療の可否を判断します。歯質をできるだけ保存するのが本当の齲蝕治療ですので、齲蝕の原因を知り、活動性を低下させることが大事ですが、それには、患者さんと情報を共有し、適切な改善策を提案して治療を進める必要があります。適切な提案をするためには、日ごろから、齲蝕に関する知識を整理して理解しておく必要があります。しかしながら、そのためのテキストはいままでありませんでした。

本書は、まさにそのためのテキストといえます。伊藤先生は、臨床での疑問をそのまま放置せず、関連する論文を探し、必ず一次情報<sup>さかのぼ</sup>で遡って理解することを長年積み重ね、読破した論文は600以上になるそうです。本書の本文には、きちんと根拠を示すreferenceがあり、最後に文献が提示されています。論文を読んで、疑問が解決できたら、平易な表現で説明できるように知識の整理を丹念にされたそうです。その成果をまとめたのが本書です。ぜひ、歯科医師、歯科衛生士だけでなく歯科医院で働くすべてのスタッフにご一読いただきたい本としてお勧めします。



2018年コペンハーゲン大学 ICDAS セミナー  
で伊藤先生(右)と